

## SASEBO de ENGLISH

市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は「九十九島動植物園『森きらら』」を題材にした会話です。



- Nahoko The good old days.  
(懐かしいな)
- Emily Did you come here often?  
(よく来てたの?)
- Nahoko Yes. I have a lot of memories here.  
(うん、ここにはたくさん思い出があるのよ)
- Emily This is full of memories.  
(ここにはたくさんの思い出が詰まっているのね)
- Emily I will come here with my family too.  
(私も家族と来るわ)
- Emily & Nahoko See you!  
(またね!)

広報テレビ番組「キラっ都させば」放送スケジュール  
 第1土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50  
 第2土曜 NCC 16:25～16:30 第2日曜 NIB 6:30～6:35  
 第3土曜 NBC 9:25～9:30 KTN 11:45～11:50  
 第4土曜 NCC 16:25～16:30 第4日曜 NIB 6:30～6:35  
 毎週日曜 TVS 18:55～19:00  
 ※上記内容を1カ月先行して放送しています。  
 ※「キラっ都させば」と文字情報の「させば市政だより」は週替わりで放送しています。  
 ※YouTube版はこちらからどうぞ。



## 九十九島かき



佐世保の秋冬の味覚「九十九島かき」が、旬の時期を迎えています。

「九十九島かき」が養殖されている九十九島の海域は島々から豊富な栄養分が流れ込み、カキのおいしさをより豊醇でクリーミーに育て上げます。

また、リアス海岸の複雑な入り江に包まれ、波も静かなため身入りが良くなるなど、カキの生育には最高の条件がそろっています。

「九十九島かき」は昭和40年頃から市内で養殖がスタートし、平成20年に九十九島かきの地域団体商標登録が認められました。いまや佐世保ブランドの秋冬の代表格として、市内だけでなく市外の人からも多くの支持をいただいています。

例年11月と2月の土・日曜、祝日に開催されている「九十九島かき食うカキ祭り」には多く人が訪れ、「九十九島かき」を堪能されていますが、残念ながらことしは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、11月の秋の陣、2月の冬の陣ともにイベントの開催は中止となりました。

「九十九島かき」は市内の一部飲食店で提供されている他、インターネットなどでも購入できますので、この機会に佐世保の海の恵み「九十九島かき」をどうぞお召し上がりください。

☎水産課 ☎24-1111

### 人の動き(12月1日現在)

- 総人口 240,213人(前月比-219人)  
男性 113,983人(-101人)、女性 126,230人(-118人)
- 世帯数 104,589世帯(前月比-78世帯)
- 11月中の動き  
転入 360人、転出 420人、出生 134人、死亡 293人

## 歴史を伝える市内最大のため池 郷美谷ため池

ため池とは、農業用水を確保するために造られた水を貯めておく人工的な池のことで、農業用水の確保以外にも大雨時の洪水調節の機能などがあり、歴史や文化など多様な側面を持つ地域にとって重要な施設です。今回は市内で大小約1,200あるため池のうち、最大の貯水量を誇る「郷美谷ため池」(里美町)の役割や歴史などを紹介します。

里美町の山あい広がる市内最大の貯水量を誇る「郷美谷ため池」。周辺には豊かな自然が広がり、静かで落ち着いた風景を楽しむことができます。「ごみ」とは、水に溶けた土という意味を持つ「泥土」の古語であり、昔から湧き水が多く見られたことがうかがえます。

江戸時代中期、米の増産政策として平戸藩の肝いりで郷美谷一円の開拓が行われ、下流域の大野・中里地区に農業用水を供給するために郷美池の下に新たな堤を築き、郷美谷ため池が造られました。

明治維新後にはさらに新田開発が進んだことから、第二次世界大戦中に国や県、地元の5つの村が巨費を投じ、昭和17年に現在の郷美谷ため池が完成しました。

郷美谷ため池の近くには九州自然歩道「野鳥と歩くみち」が通っています。大自然の中に身を置いて、ため池の役割や歴史などに思いをはせながら、ほっとひと息ついてみてはいかがでしょうか。



ため池を訪れる際はご注意ください

- 水難事故防止のため、堤体の中には立ち入らないでください。
- ため池の周辺には狭い道がありますので、通行する際は気を付けてください。

郷美谷ため池の歴史など、詳しくは右の画像からご覧ください



☎農林整備課 ☎24-1111

天気の良い休日に、孫と一緒に近くの公園に出掛けました。公園には子どもを連れた若いお母さんが数人いらっしゃり、子どもたちが遊ぶ様子を見守りながら楽しそうに話をされていました。この公園はお母さんと子どもの組み合わせが多く、おじいさんである私と孫のコンビは目立っていたように思います。

ブランコに乗って楽しそうに遊んでいる子どもたちを見ていた孫が「ブランコに乗りたい」と言い出し、どうしたものかと考えていました。その様子に気付いた1人のお母さんがブランコで遊んでいる子どもに話をしてくれて、快くブランコを譲ってくれました。風を受けてうれしそうにブランコをこぐ孫の笑顔を見ることができて、私も楽しい時間を過ごすことができました。

公園から帰る際に、お母さんたちに「どうもありがとうご

ざいました」と声を掛けて会釈すると、それを見ていた孫もペコリと頭を下げました。

孫が成長し、私と公園に行ってブランコで遊んだこと、親切にしてくれた人たちにお礼が言えたことを覚えていてくれたら「じいさん冥利に尽きる」と思いました。

(匿名希望)

「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからもダウンロードできます。

☎佐世保徳育推進会議 ☎23-2856